

2016.12.16

内部監査が終了しました

～目次～

内部監査が終了しました。

1 ページ

内部監査での有効事例の紹介

2 ページ

市民公開講座を開催しました。
電池の廃棄について

3 ページ

1 月期運用管理点検のお願い

4 ページ

出雲キャンパスEMS
実施委員会

医学部及び附属病院
EMS対応委員会



オープニングミーティングの様子



11月に平成28年度の内部監査を実施しました。

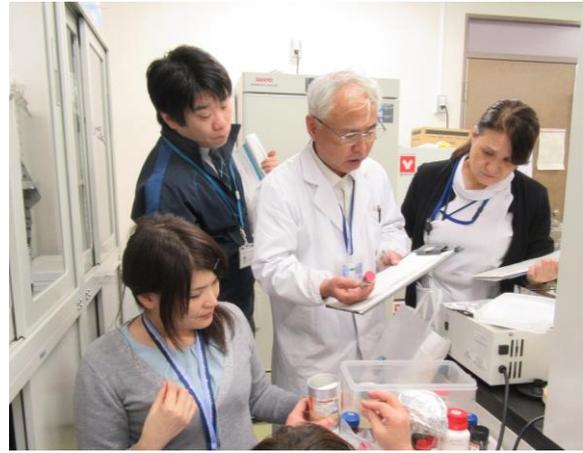
監査チームは、内部監査・スキルアップ研修に合格した内部監査員の資格を持つ教職員で編成しました。(1 チーム4～5名ずつ計6チーム)

監査は、実地監査前に被監査部局等へチェックリストを送付、回答されたチェックリストを基に各内部監査チームでどういった監査を実施したらよいか検討(レター監査)を行い、その後実地監査に臨むという方法により実施しました。

附属病院で普段勤務している教職員が医学部へ、医学部で勤務している教職員が附属病院へ赴き、実地の監査を行いました。EMS文書に基づいた指摘もあり、EMSについての認識がさらに深くなる内容の濃い監査となりました。

監査結果は、有効事例が25件、観察事項が15件でした。今後は、指摘された観察事項について対応していくこととなりますので、確認、改善する事項についてはEMS推進員を通じて依頼をしますので、その際にはご協力方よろしくお願ひします。

内部監査員の皆さま、被監査部署の皆様、ご協力ありがとうございました。



実際の監査の様子



～内部監査での有効事例を一部紹介します～

11月に実施した内部監査では、独自の工夫をこらした有効な取組をされている部署がありました。その中の一部を紹介します。

<リハビリテーション部>

毎年、出雲キャンパスの全構成員を対象にEMS基本教育研修を行なっていますが、その受講状況は部署によって様々です。

このことに対して、リハビリテーション部は部門独自の参加状況リストを作成し、各自、参加した日時を記すことで受講状況が一目で確認出来るように工夫されていました。

このリストを見れば、受講者と未受講者が区別でき、容易に未受講者に受講を促すことも可能です。

未受講者が多い部署は参考にされてはいかがでしょうか。



市民公開講座を開催しました

環境教育・環境研究作業部会では、本学の環境研究成果を地域に還元する一環として平成19年度より毎年1回、環境に関する市民公開講座を開催しています。平成28年度は12月3日(土) 13:30～15:30に出雲キャンパス講義棟1階国際交流ラウンジを会場に「身近な生活環境と健康—環境と病気の予防—」と題して開催しました。

今回は、環境保健医学講座:神田秀幸教授と同講座:久松隆史准教授による予防医学の立場から、環境と健康をテーマにした講演をしていただきました。

神田教授からは、白雪姫の7人のこびとや妖怪のからかさおばけといった昔話に描かれている登場人物には実在のモデルが存在したという説があり、そのモデルの背景にはビタミン不足や多量の赤外線照射による健康への影響が関係していることを分かりやすく説明して頂きました。こうした身近な話題から環境が悪影響を及ぼして健康を害することの理解につながるきっかけとなりました。

久松准教授からは、脳卒中予防のため、気温変化などの環境要因に留意するだけでなく、個人の生活、特に、運動・栄養の注意点についてのポイントを広く市民の皆様にご説明して頂きました。講演の中では、計算機を使ってご自身の適正体重を実際に計算してみるなど、実践的な内容もたくさん盛り込まれていました。

今回の参加者は40人で、講演の後、活発な質疑応答が交わされ、環境と健康に関する市民の皆様のご関心の高さが伺えました。

今後も本学のEMS活動を市民の皆様にご広く知っていただけるよう、こうした公開講座を継続して開催していきたいと思っております。

ご参加いただきました皆様にご厚く御礼申し上げます。



市民公開講座の様子

～電池の廃棄の際には絶縁処理をお願いします～

今年度の内部監査で施設管理部門として廃棄物処理関係を監査しました。その中で各部署から搬出される廃棄電池について指摘がありました。廃棄電池は一見電力が無くなっているように見えますが、全くゼロになっている訳ではなく、ごく微量の電力が残存しているそうです。その電池同士や金属片と一緒にすると電池のプラス極とマイナス極が繋がりショートした状態が生じ、結果大きな電流が流れ、発熱・破裂・発火することがあります。(そのほかにも小型電池(ボタン電池, コイン電池)と角型電池のプラス, マイナス端子部に挟まりショートし、電池が充電または過放電され、破裂や発火する等の事例やスマートフォンの電源として使用されているリチウムイオン電池の発火事例が報告されています。)

こういった事態を防ぐためには、電池の全てのプラス極とマイナス極をセロハンテープやビニールテープ等を貼付することで絶縁できます。

搬出の際にはひと手間かけていただきますよう、みなさまのご協力をお願いします。

(参考:一般社団法人 電池工業会HP)

<http://www.baj.or.jp/recycle/recycle01.html>



絶縁処理の方法

1月期運用管理点検のお願い

1月は、EMS活動について実施できているかどうかのチェックをEMS推進員の方を通じてお願いしています。

EMS推進員の方は、HPのアンケートに回答する形で入力をお願いします。Web運用管理点検は1年に2回(7月期と1月期)ですが、部署での活動を見直すチャンスとし、ごみの分別やマニュアルの掲示等実施できていない項目等については、この機会に改善をお願いします。

1月初めに各EMS推進員の皆様にメールにて点検を依頼します。締め切り:1月31日(火)
※入力はインセンティブポイント実績の対象となりますので、よろしくお願いします。

EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから省エネのアイデアを募集しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

- 島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
財務部施設企画課(出雲)環境マネジメント担当
TEL 0853-20-2549
FAX 0853-20-2049
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

- 島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
出雲キャンパスでのEMS活動内
キャンパス環境投書箱
<http://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/SVk1jsVv0n>

